

## 定例市政記者クラブ・市長懇談会（8月分）の結果について

日時 平成24年7月24日（火）午後1時30分～午後2時  
場所 市役所2階第1委員会室  
出席 市政記者クラブ10社

### 会見内容

#### 1. 話題提供（5項目）

#### 1. 平成24年度釧路市事業仕分けの結果について

- 7月21日（土）、22日（日）の2日間、事業仕分けを実施いたしました。結果につきましては、既に公表しておりますが、「抜本的見直し」は無し、「見直し、改善」が6事業、「現行どおり」が18事業という結果となったところでございます。
- 釧路市の事業仕分けは、市の行っている事業について市民の皆さんにその内容や手法などを理解していただくことを目的に、事業の効果などについて議論いただき、ご意見をいただくものであります。  
2日間にわたり、24事業の仕分け作業を行っていただいたところでありますが、仕分け人の皆さんには2度の事前の説明会も含めまして、大変貴重なお時間をこの仕分けのために使っていただき、ご尽力いただきましたことに、改めて感謝申し上げる次第でございます。
- 市といたしましては、仕分けの結果を受けまして、対応方針を検討していくこととしておりまして、12月議会には、対応方針の素案をお示しし、平成25年度予算編成を経て、2月議会で対応方針を決定してまいりたいと考えております。  
なお、事業仕分けは、本年度対象の193事業から仕分け事業を選定したことをもちまして、完了と考えております。

#### 2. 日系カナダアイスホッケーチーム2012の来釧について

- 日系カナダアイスホッケーチームは2000年（平成12年）に誕生し、その年に初めて来釧し、以降、2年ごとに来釧、今回が7回目となります。  
今回の来釧にあたって、姉妹都市のコリガン・バーナビー市長から、日加および釧路市とバーナビー市の交流が深まることを祈念した親書をいただいております。
- 来釧者数は、高校生選手が22名（今回初めて女性選手1名を含む）、スタッフ3名、父兄28名の計53名で、7月21日に来釧され、23日は議場において表

敬訪問をいただいたところであります。

今回は、地元の高校アイスホッケーチームをはじめ、例年、合宿いただいている東北高校などとの国際親善試合が釧路アイスアリーナで行われ、いずれも入場無料で一般に公開されています。

- 今回は、ホスピタリティーを充実させるために、「日本・カナダアイスホッケー国際交流実行委員会」が設立されています。

これまで、父兄に対する歓迎行事はありませんでしたが、今回、当実行委員会がボランティアのご協力を得て、商業施設における買い物や飲食など、釧路の日常生活を体験していただくとともに、福司酒造や防災センターの見学などを企画していると伺っております。

また、市民との交流を深めるために「日本・カナダ国際親善交流大運動会」を企画しており、7月26日（木）午後3時30分から鳥取ドームで開催されます。

今回の実行委員会の企画につきましては、今年度の「元気な釧路創造交付金」採択事業となっております、50万円の交付を決定しております。

- なお、来釧時にはカナダ・バンクーバー日本国総領事をゲストにした壮行会も開催されたとも伺っており、日加関係をさらに深めるものと考えております。

### 3. 八千代市との少年少女スポーツ交流について

- 来る8月4日（土）、第31回目となります、ブロンズ像友好八千代市・釧路市少年少女スポーツ交歓大会が開催されます。

この事業は、釧路市の幣舞橋と千葉県八千代市の村上橋に設置されているブロンズ像が縁となりまして、昭和57年度に開始された小学生のスポーツ交歓大会であり、両市が交互に訪問して実施されているものです。

- 今年度は、豊田俊郎八千代市長をはじめ、野球1チーム、サッカー1チーム、ミニバスケットボール男女各1チームの選手団など関係者85名が来釧されることとなっております。

日程といたしましては、8月3日（金）午後、釧路空港に到着し、その後、市内のホテルで歓迎式が行われます。翌4日（土）午前9時より、市民球場、市民陸上競技場、湿原の風アリーナ釧路の各会場において釧路市選手団との交歓試合が行われ、夕刻から歓迎夕食会が開催されます。

- 8月5日（日）は、八千代市の皆さんはスケートの体験学習と市内観光を行い、6日（月）の午後にお帰りになる予定となっております。

今年の夏も、関東方面は暑さの厳しい日が続いているようでありますので、釧路市での涼しい数日間を満喫していただくとともに、スポーツを通じた両市の友好・

親善がさらに深まるよう、お迎えしたいと考えております。

#### 4. 豪華客船「飛鳥Ⅱ」の耐震・旅客船ターミナルへの入港について

- 国内最大の豪華客船「飛鳥Ⅱ」が、昨年に引き続き、7月26日（木）に 釧路川河口の東港区 耐震・旅客船ターミナルに入港します。
- 当日は、港湾関係者と多くの市民で「飛鳥Ⅱ」の入港をお出迎えした後、午前8時の入港後に岸壁エプロンにおいて、市主催の歓迎セレモニーを行い、午前11時30分から市民団体等で構成される「釧路港おもてなし倶楽部」を中心とした、各種おもてなし行事が行われます。

おもてなし広場では、ゆめこいパラソルショップ、こども縁日、まちくらドリンク屋台が開催され、ステージイベント、シクロ（ベトナム風 三輪自転車）の運行も行われます。

また、釧路港湾事務所による港見学会、海の月間実行委員会による「飛鳥Ⅱ 船内見学会」など官民一体となった取り組みが行われます。
- 乗船客の皆さまを温かく迎えるとともに、午後4時30分からは出港のお見送りもごさいますので、多くの市民の皆さまにお集まりいただき交流を図ることにより、釧路港への寄港が増えていくことと期待しております。

#### 5. 長期滞在の取り組みについて

- 釧路市では、平成21年から地元の不動産事業者や宿泊事業者が主体となり、くしろ長期滞在ビジネス研究会を設立し、夏季冷涼な釧路の気候を呼び水として、長期滞在者の積極的な誘致活動を行ってまいりました。

昨年、釧路市の長期滞在の人数、滞在日数ともに、道内1位になりましたが、さらに本年は、昨年を上回る申し込みをいただいております、涼しくくしろが少しずつ長期滞在者の間で浸透してきていることを実感しております。
- 今夏の全国的な電力需給のひっ迫および計画停電による影響もあるかと考えますが、実際の声をお聞きしますと、やはり、過去に釧路市に滞在された方による口コミや、東京・大阪での移住イベントでのPR活動が着実に実を結んでいるようです。
- 今後、くしろ長期滞在ビジネス研究会が主体となり、すでに釧路市内で滞在されている方々を対象に、釧路に対する理解と愛着を深めていただきたいという思いから地元食材や市民活動を紹介する交流会や、地域を知っていただくための地域学習講座の開催を予定しております。

このほか、研究会会員のジャンボタクシーを活用し、音別、白糠地区の産業や特産品を知っていただく現地訪問型学習講座を開催する予定です。

- これらの取り組みは、長期滞在されている方々から釧路のことが良く分かる、また、参加をきっかけに友人ができる大変好評で、リピーターの中には、来釧初日に各種行事の予定を確認し、参加予約をされる方もいる状況です。
- このような取り組みが、釧路への移住や交流人口の増加へ結びつけば、地域全体に経済効果が波及するものと考えております。

## 2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 事業仕分けについてお聞きします。三年間で一巡しましたが、来年度以降の行政評価の在り方についてはどのようにお考えですか。

(市長)

- ・ 市の行っている事業を、より市民の方に理解していただけるように「見える化」をする取り組みを進めていかなければならないと考えております。  
都市経営戦略会議の提言により休止している「行政評価」の取り組みを再構築するとともに、決算に際して議会に対し提出する「主要成果報告書」の中で、戦略的な行政投資の成果を市民に分かりやすく示していきたいと考えております。

(質問)

- ・ 公表時期はいつ頃ですか。

(総合政策部長)

- ・ 最終的には決算委員会の中で決算資料の一つとして見ていただけるような形で示していきたいと思っておりますので、それまでには作業を終えたいと考えております。

(質問)

- ・ 評価の手法としてはどのようなものを想定されていますか。事業仕分けにおける仕分け人のような方を募ったりするのでしょうか。

(総合政策部長)

- ・ 現段階では内部評価のみを行い、その結果を公表するものと考えております。

(質問)

- ・ 具体的に何事業が評価の対象となるのでしょうか。

(総合政策部長)

- ・ 現在部会で検討を重ねており、これから取りまとめてまいります。

(質問)

- ・ 長期滞在の取り組みについてお聞きします。  
熊谷市のポータルサイト「あついぞ.COM」へのバナー広告を掲載した結果、同サイトのアクセス数が9,000件増加したとのことでしたが、件数の推移を教えてください。

(市長)

- ・ 4月は90,588件、5月は90,744件だったのに対し、6月は99,821件となっております。

(質問)

- ・ 問合せは増えているようですが、それに対する受け入れ施設に余裕はあるのでしょうか。

(交流推進主幹)

- ・ マンスリーマンションの場合だと、二人以上での利用を想定した物件についてはすでに予約で埋まっているのが実態です。単身での利用を想定した物件については若干の空きがありますのでそちらをご案内したり、ホテルをご案内したりしています。

(質問)

- ・ 急きょ増やすような対応は取れないのですか。

(交流推進主幹)

- ・ 今年度新たに「くしろ長期滞在ビジネス研究会」の会員が増えましたが、それでも十分とは言えません。同研究会においても、大きな課題であるという認識を持っています。

(市長)

- ・ 長期滞在者向けの物件として設備投資を行った場合、夏場のみの利用で投資費用を回収するのは困難であり、受け入れ側の民間事業者としても設備投資の判断が難しいところなのだと思います。

例えば冬場については、「ライフケアビレッジ」構想などにあるように、高度な医療施設等を生かし管内広域圏の住民の呼び込みを図るなど、物件の通年での利用

につなげていかなければなかなか設備投資を行えないと考えられます。

そういったことから、まずは、今来ていただいている方々の満足度を向上させ、価値を高めていく取り組みが重要だと考えております。

(質問)

- ・ 計画停電についてお聞きします。

釧路は水産や酪農などに力を入れている生産都市ですが、水産会社の一部や、酪農でいえば阿寒地区についても一部、計画停電のエリアに入っています。しかしながら、例えば水産会社等では冷蔵庫のスイッチを切るわけにはいかないといった問題もあります。これについてはどのようにお考えですか。

(市長)

- ・ 計画停電が実施されれば、産業等が受ける影響はとて大きなものになります。このことから、北海道電力釧路支店に対し、計画停電ありきで進めるのではなく、計画停電を避ける方向で検討していただき、また情報を速やかに外部に発信していただきたい旨を要望しています。

(質問)

- ・ 震災の影響で冷凍サンマの在庫を大量に抱えているという話を聞いていますが、現時点での冷凍サンマの在庫数を把握されていれば教えてください。

(水産統括監)

- ・ 具体的な数字は把握しておりませんが、例年より多いと聞いております。

国内の全在庫数で見ると、昨年は4万トンを超えている程度であるのに対し、現在は4万5、6千トン程度となっております。最も多い時期で6万数千トンの時があったかと記憶しておりますので、それに比べると最も在庫を抱えていた時ほどのものではないと見ております。

また、在庫の増加に伴い価格の下落が心配されておりましたが、今年度は水揚げが減っており、逆に在庫については価値が上がったという見方もできると考えております。